

# みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成26年度分）

団体名： 宇治田原町

プロジェクト名	安心・安全プロジェクト		実施期間	平成26年度～	テーマ	安心安全プロジェクト (町重点施策)	新規・継続の区分	継続
地域における現状、課題及び住民ニーズ	<p>通学時間帯における幹線道路（国道307号等）は、非常に渋滞し、多くの車が生活道路（通学路）へ迂回するため、大変危険な状態であるとともに、全国的に児童生徒が犯罪被害の対象となる事件等も多く発生していることが新聞等で報道されている。そのため、児童・生徒の安全確保について十分な対策をとることが必要とされている。</p> <p>また生活道路については、住民が日頃利用する道路であり、生活道路における安全確保は住民の安全確保の点から最重要課題である。住民通報や行政関係職員の日常からの点検パトロールにより、特に危険度の高い箇所から計画的な補修工事が必要とされるとともに、犯罪が多発する社会情勢の中、夜間における安全確保対策も求められている。</p> <p>その他、地震や台風等により災害被害が多く発生する中、周辺を山林に囲まれた本町においても、土砂災害や水害等をはじめ、ゲリラ豪雨等による被害を最小限に抑え、住民が安心して暮らすことができるように、災害に強いまちづくりを進めるなど総合的な安心安全対策の推進が必要とされている。</p>							
プロジェクトの目的及び概要	<p>児童・生徒の学校生活にかかる安心安全を確保し、子どもたちが安心して健やかに育つことができる環境を整備することをはじめ、住民生活において必ず利用される児童遊園や道路付属構造物等における総合的な環境整備に安心・安全確保の観点より取り組むとともに、災害に強いまちづくりを進めるため、地域住民が自主的に地域を守るために組織される自主防災組織への支援をはじめ、避難所等への生活物資の備蓄や防災資機材の整備・充実を図る。また地域自主防災組織等と協働し、有事の際における要援護者などの避難体制の確立を図り、住民全てが日常から非常時の「いつ・どんな場合」においても安心して暮らしていける環境整備を進める。</p>							
	総事業費（千円）	15,705	本年度事業費（千円）	15,705	交付金額（千円）	5,715		
プロジェクトを構成する事業の平成26年度事業実績(出来高数値等)								
事業分類	事業名	事業種別	事業概要			主な実績（出来高数値等）		
市町村 実施事業	災害時避難所物資整備事業	交付対象事業	災害時における避難場所に生活物資や防災資材の整備を行い、避難所の機能充実を図る。			災害時に備えて、避難所等に生活物資・資機材を整備し住民の安心・安全の推進を図った。 【平成26年度整備一覧】 難燃毛布 50枚 備蓄食料 500食等		
	交通安全指導員設置事業	交付対象事業	通学路の交通事故危険箇所（信号機のない横断歩道等）に交通安全指導員を配置し、登校時における児童・生徒の交通事故防止を図る。			通学路の交通事故危険箇所（信号機のない横断歩道等）に交通安全指導員を配置し、登校時における児童・生徒の交通事故防止を図った。		
	小学校安心安全対策費	交付対象事業	小学校校内において児童の安心・安全対策のため巡視員及び緊急通報装置を配置し、児童の安心安全確保を図る。			・安全巡視員の配置 ・緊急通報装置の整備		
	交通安全対策事業	交付対象事業	道路付属構造物等（カーブミラー、安全灯）を設置することで、夜間を含めた総合的な安全確保対策を実施し、犯罪や事故の防止を図る。			・安全灯（防犯灯）の設置 ・カーブミラーの設置		
	林地内危険木緊急撤去事業	交付対象事業	近年頻発する集中豪雨による土砂災害の防止や伐倒木の民家付近への流入による被害拡大を防ぐため、林地内にある伐倒木の撤去や枝払・玉切・片づけ等の林地内の整理を図る。			集中豪雨等により土石流が発生した場合の被害低減を図るため、集落上流の河川に堆積している危険木を撤去、排除、集積を行った。		

# みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成26年度分）

団体名： 宇治田原町

住民協働事業	自主防災組織支援事業	交付対象事業	「自分たちの地域は自分たちで守る」という自覚、連帯感に基づき、区等の単位で発足した自主防災組織に対し、防災資機材を支給するとともに地域で必要と思われる防災資機材等の整備に対する補助を大幅に拡充することにより共助の促進を図った。また、組織の相互連携や防災訓練等に対する支援を実施する。	自主防災資機材の整備に対する補助を行った。 ・非常時の備蓄物資や防災資機材の整備に対して事業費の1/2を補助。 ・自主防災組織による災害時要援護者避難誘導訓練等の支援 ・地域自主防災会等連絡協議会の開催	
	自主防災組織活動充実事業	関連事業	各地区における自主防災意識の高揚を図り、有事の際における避難・防災訓練等を実施する。	各地域において避難・防災訓練等を実施。	
	消防資機材整備費	交付対象事業	有事の際における消防団の活動効果を最大限に発揮するため、消防資機材の整備を実施する。	無線受令機のデジタル化及びトランシーバー・ヘッドライトなどの消防資機材の整備を実施。	
住民が取り組む事業	地域防犯パトロール	関連事業	地域ぐるみで犯罪の芽を小さなうちに摘み取ることを目的に、各地区ごとに夏休み期間など定期的な防犯パトロールを実施し、少年少女への声掛けなどを実施することで防犯と地域の団結につなげる。	住民自らが地域ぐるみで街の安心を見守ることにより、犯罪の抑止力につながった。	
成果指標①	成果指標の目標数値	自主防災組織支援事業： 自主防災訓練の実施回数 目標 7回		成果指標の実績値 (○年○月○日時点)	自主防災訓練の実施回数 11回 (平成27年3月31日時点)
	成果指標の達成状況	◎	(左の理由)	目標数値を上回る11回の自主防災訓練を開催。有事の際における避難・防災訓練等を実施し、各地区における自主防災意識の高揚を図った。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)
成果指標②	成果指標の目標数値	地域防犯パトロール事業： パトロール回数／人数 目標 5回／50名		成果指標の実績値 (○年○月○日時点)	パトロール回数／人数 5回／56名 (平成27年3月31日時点)
	成果指標の達成状況	◎	(左の理由)	地域ぐるみでの防犯パトロールを5回開催し、目標数値を達成。防犯意識の向上とより強固な地域の団結の推進に努めることができた。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)
本年度の事業実績が成果指標の達成に与えた効果 ※未達成の場合も効果を記載すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害発生時に備え、危険木の撤去や備蓄物資の確保など、さまざまな面での対応措置の充実が図れている。</li> <li>・各地域において、主体的・自主的な活動が活発になってきている。</li> </ul> <p>※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方策についても記載すること。</p>				
	関連事業との連携効果	有事の際にも地域住民が安全に避難等ができるように、各地域で自主防災組織を中心とした活動が行われており、自主防災意識の高揚につながっている。			

# みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成26年度分）

団体名： 宇治田原町

本プロジェクトに対する自己評価	府と市町村等との連携に資する成果	
	住民の自治意識を高める成果	・ 地域の方が防犯ボランティアとして活動することで、地域の連帯感が強まり、地域の安心安全対策の自主的な活動の活性化につながっている。 ・ 有事の際における避難・防災訓練等を実施することで住民の防災意識が高まる。
	リーディング・モデル成果	
	広域的波及成果	町内の防災対策を強化することにより、近隣自治体への応援体制の強化・連携に寄与できる。
	行財政改革に資する成果	
	その他の成果	備蓄物資の増強により、災害時の避難者の生命維持への安定が図られる。

（記載要領）

- 1 プロジェクトごとに本様式を作成し、評価すること。
- 2 記載欄が不足する場合は、適宜追加すること。
- 3 事業種別については、交付対象事業又は関連事業の別を記載すること。
- 4 成果指標の達成状況は、目標数値を上回ったときは◎、目標数値の近似値であるときは○、目標数値を下回ったときは△、判断できないときは—を記載すること。